

欧州印刷業界 NEWS



- powered by drupa -

2013年3号（秋）

爽秋の候、皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。最近欧州では選挙が立て続けに行われ、ドイツもオーストリアも新たな政権を形成しているところです。その新内閣が取り組むべきもっとも重要な課題のひとつは、印刷業界を含めた経済全般の強化です。どのような対策を取るのか、あるいは提案がなされるのか、高い関心をもって注視し、今後もお伝えしていきます。さて、本日ご提供する欧州印刷業界 NEWS 2013年・秋号では、以下のテーマを取り上げたいと思います。

- **トレンド** ・ ・ ・ **サービス事業の強化、サステナビリティ、3D印刷、
メディアにおける有料コンテンツの増加**
- **業界・企業ニュース** ・ ・ ・ **ハイデルベルグ・KBAの戦略、大手メディアの再編成**
- **メッセ情報** ・ ・ ・ **JGAS参加・drupaセミナー・レセプション、Functional Printing China**

では、ぜひ最後までご覧ください。

第1部：トレンド

トレンド1：印刷機械メーカーがサービス事業で売上増加を狙う

欧州では、印刷機械の売り上げがなかなか伸びないため、メーカーが自身のポートフォリオを見直し再構成する、という動きが見受けられます。ソフトウェア、サービスが付加価値創造に貢献するとの認識が広がっており、既報（[欧州印刷業界2011年4号](#)）のように、ハイデルベルグ社をはじめドイツの印刷機械メーカーは、さらなる成長を目指してビジネスモデルを調整し、サービス事業のシェアを拡大させようとしています。

今年の初夏には、XEROX社取締役 デ・リマ氏がインタビューで、『弊社のMPS（Managed Print Services = 印刷関連サービス管理システム）は、企業における印刷機械の利用をより効率的にし、コスト削減を実現するとともに省エネにも貢献する。』と、同じ傾向についてふれています。もちろん、このサービスは有料であるため、同社の売上に貢献するのです。

出典：2013年5月31日付 VDI-Nachrichten 誌、2011年11月8日付 Dow Jones News

トレンド2： さらに増すサステナビリティの重要性

近年、環境保護を目的に、エネルギー消費の低減、再生可能エネルギーの利用、リサイクルがさらに重要なポイントになりつつあります。環境保護に対して意識が強いヨーロッパでは、消費者がますますあらゆる分野でサステナブル製品を求めています。印刷も例外ではなく、印刷機械メーカーもユーザーである印刷業者も、持続可能性（サステナビリティ）に配慮しています。

以前も取り上げましたように、共通の定義がまだ存在しないため、比較は難しいところではありますが、それぞれの企業が力を入れているのは事実です。それは、毎年多くの企業が[サステナビリティ報告書](#)を発行していることから分かります。ハイデルベルグ社の報告書では例えば、再生可能エネルギーのシェアを利用する全エネルギーの 20%まで引き上げた、あるいはカーボンフットプリントに関しては、ひとつではなく 3 つの関連組織と協力し、販売する印刷機械一台一台のカーボンフットプリントを計算して顧客に提供している、また、顧客の希望に応じ、製造工程で発生した CO2 の排出権を取引している、といった内容が挙げられています。

環境保護をさらに強化する活動のひとつとして、ハイデルベルグ社をはじめいくつかの企業は『エコ印刷賞 / Eco Printing Award』を実施しています。最近の事例では、イギリスの『Print Week』誌が行うアワードです。今回「環境保護ナンバーワン」の栄冠に輝いたのは、従業員が 28 人という規模のやや小さな印刷会社『Park Lane Press 社』です。同社は水なし印刷技術に投資して、水使用を減少させるなど数多くの対策をとり、ISO 14001 の認定も受けました。授賞式は 2013 年 10 月 21 日、ロンドンで開催されます。

出典：2013 年 5 月 30 日付 Printweek 誌、2013 年 4 月 25 日付 Print.de サイト、
www.printweekawards.com サイト

トレンド3： 3D 印刷

前号の[欧州印刷業界 NEWS 2013 年 2 号](#)でもふれましたが、このニュースは 3D 印刷への期待がいかに高いか、ということをお話しています。3D 印刷分野をリードする米国企業 Stratasys 社は、今夏にニューヨークの Maker Bot 社を買収したと発表しました。買収自体はそれほど大きなニュースではありませんが、買収金額は 4 億米ドル（およそ 400 億円）と、Maker Bot 社年間売上高の 27 倍に相当するのです！

また、このところ欧州メディアにもよく取り上げられているのは、ニュージーランドの研究者 J. Evil 氏が開発した「Cortex Exoskeleton（身体外骸骨）」です。これは、骨折治療に利用されたギプスに代わり、患者の体を 3D スキャナーで電子化し、ナイロンで 3D 印刷するというものです。利点は、ハニカム構造のため軽く、使用後のごみの量も減り、素材によっては水にふれても衛生上の問題がないことです。現時点の問題はプリンターの価格ですが、しばらくすると下がるものと思われます。

出典：2013年7月8日付Print.de サイト、2013年7月7日付Chip Online 誌、
2013年6月21日付Handelsblatt 誌



写真の出典：<http://www.artandsciencejournal.com/post/54772767409/jake-evills-cortex-exoskeleton-protecting-the>

トレンド4：メディアは有料コンテンツのシェアを増加

印刷される新聞・雑誌広告の減少が企業収益に影響をおよぼすため、欧州のメディア企業は新しいビジネスモデルを模索しています。そのひとつが『オンライン版』の扱いです。今までは、印刷・発行された新聞・雑誌にある内容を、オンライン版でも無料で紹介してきましたが、次第に状況が変わってきています。例えば、独最大のタブロイド誌『Bild』は、オンライン版でニュースを無料で公表していますが、写真やそのニュースの背景など、付加価値のある情報を有料にする、という戦略を発表しました。

これまで、読者がオンライン情報にお金を払うのか、が心配されてきましたが、それは徐々に払拭されてきています。ドイツだけでも、およそ40の新聞と雑誌が有料コンテンツシステムを導入しており、また、新聞が提供する450のアプリのうちすでに290が有料です。7月に公表された統計によれば、本年第2四半期には、FAZ 誌電子版の売上高は前年同期比増倍以上（101.68%）、南ドイツ新聞（Süddeutsche Zeitung）は53.3%、Welt 誌も26.7%の売上増を実現しています。

出典：2013年7月17日付FAZ 誌、2013年7月3日付Welt 誌、
2013年5月31日付Handelsblatt 誌

第2部：産業・企業ニュース

ハイデルベルグ社は、パートナーシップを強化

ドイツの印刷機械最大手ハイデルベルグ社リンツバッハ社長のインタビューによると、来年3月に期末を迎える今財政年度は、純利益（税引後）を達成すると予想しています。企業の戦略として、標準的な機械の製造を中国で強化するといった生産拠点の適応や、戦略的パートナーシップを組む予定が発表されています。

出典：2013年7月24日付FAZ誌・Handelsblatt誌、
2013年6月4日付Handelsblatt誌

KBA社はリストラを継続

世界最古の印刷機械メーカー独 KBA 社は、特に輪転印刷機分野の受注低迷により、リストラを継続し従業員数をさらに削減しなければならないと発表しましたが、詳しい数字をあげていません。同社は、受注低迷を埋め合わせる他のビジネス分野を開拓・拡大する戦略を取る方向を見せており、最近ではガラス容器に印刷する印刷機械メーカーKamann社を買収しています。この会社の従業員数は175人で、2012年の売上高は約3,000万ユーロ（40億円相当）に過ぎませんが、今後その技術へのニーズが増加し、将来的にKBAの成長に貢献すると見られています。

出典：2013年8月10日付FAZ誌、2013年7月25日付FAZ誌

メディア大手 Springer グループ再編成

独メディア企業で強い影響力を持つ Springer グループは、企業再編を継続しています。今年の夏には、2つの地方新聞の事業と雑誌の事業を Funke グループに売却し、ポートフォリオにおいてプリントメディアの比率を急激に減らしました。それに代わりオンライン事業を強化し、不動産検索サイトや自動車検索サイトを運営する Scout グループの買収を検討している、と発表しています。

出典：2013年8月8日付Handelsblatt誌

ドイツの印刷会社はさらに減

ドイツの印刷業界は難しいビジネス環境下にあり、縮小する傾向が見受けられます。昨年には、既存企業の3.5%にあたる343社が倒産し、ドイツ全国の印刷会社数は9,400社にまで落ち込んでいます。また平均で、売上高は2.5%、従業員数はおよそ2%減少しています。今後も業界再編が継続すると見込まれていますが、合併・買収による大規模化や倒産というこれまで多く見られた形態だけではなく、ビジネスを継続させるために印刷会社がオンラインサービスも提供するという選択も、増えてくるものと見られています。

出典：2013年7月4日付FAZ誌

第3部：メッセ情報

drupa 新統括部長 ゲルダーマン来日、JGAS にてセミナー・レセプションを開催

『JGAS 2013 - 国際総合印刷機材展』会期2日目にあたる10月3日（木）15時から、東京ビッグサイト東館6ホールにて、世界、なかでも欧州・中国の業界動向を盛り込んだ講演を開催します。また、続く17時から、同じく東京ビッグサイト内の北コンコース・レストラン街にある『ザ・ビッグラウンジ』にて、レセプションを行います。

セミナー『欧州・中国の印刷業界動向』～世界の業界の変化を体現し、未来を示す drupa

2013年10月3日（木） 15時～

東京ビッグサイト 東館6ホール セミナースペース『B-5』

drupa デュッセル CLUB（レセプション）

2013年10月3日（木） 17時～

東京ビッグサイト レストラン街（北コンコース1F） 『ザ・ビッグラウンジ』

Functional Printing China 2013

本年5月16日に中国・北京で『Functional Printing China – 中国機能性印刷技術会議』が初めて開催されました。350名を超える業界関係者の参加を得、発表内容の専門性に対し高い評価をいただきました。ファイナルレポートの英語版を[ウェブサイト](#)からダウンロードしていただけます。

All in Print China 2014 出展募集中

印刷・メディア業界を世界的にリードする「drupa」を主催するメッセ・デュッセルドルフが、巨大市場中国・上海で2004年から開催している『All in Print China』は、中国、そして周辺諸国を牽引する業界メッセのひとつです。10周年の節目を迎える今回は、2014年11月14日～17日に開催予定で、すでに出展募集がスタートしています。ご関心のあるかたは、お早めに弊社へご相談ください。



欧州印刷業界 NEWS2013年3号は、いかがだったでしょうか？ご意見やご要望をお聞かせいただければ幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集 担当】メルケ・橋木【メッセ担当】橋木

www.messe-dus.co.jp ・ <http://drupa.messe-dus.co.jp>

本ニュースレターの掲載情報は発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

